



山形県上山市
野本 悟さん

特集

お客様とは 親戚同様の おつき合い

心が繋がる「家族総出の農園便り」

山形県上山市は人口3万人ほどの小さな町。野本悟さんは、この土地で曾祖父の代から果樹園を営んでいます。17歳で父を亡くした時、野本さんは「自分がこの家を守っていかなくちゃならない!」と決意しました。そして、父を失い母と2人で頑張る姿を「これからも応援するから頑張れ!」と力づけてくれたのは馴染みのお客さん達でした。人との繋がりを大切に作る農家、野本さんとお客さんを繋ぐのは農園からの「お便り」。農園とお客さんの心あたたまる交流をご紹介します。

100万円のパソコンで起死回生!

野本さんは家を継ぐべく農業大学を卒業後は、祖父や近所の先輩達から栽培技術を学びました。そして、当時は珍しかったパソコンを思い切って100万円で購入したのです。様々な業務に役立ったパソコンでしたが、一番の利点は顧客リストの作成でした。それまでは「さくらんぼできましたか?」という個々の電話に対応するだけでしたが、顧客リストからお中元、お歳暮の時期に合わせて案内状を送れるようになりました。結果、売上は大きく伸び、名実ともに果樹園の主人となった頃。ある事件が起こりました。



「顔が見える農家」への転機



ひとつひとつ、夫婦で丁寧に収穫

山形県の業者、使用禁止の農薬を販売!と全国に報道されたのです。農薬を使用した農家が、洋梨を廃棄している映像が流れました。野本さんは急ぎ『問題の農薬を使用していない』とメッセージを顧客に送りましたが、お得意さんだった会社関係者からの注文はストップ。一方、個人の顧客からは変わらず注文がありました。これを機に、個人との繋がりをより意識するようになった野本さん。栽培のこだわりなどを伝える、手書きの果樹園便りを発信するようになりました。やがて息子もお便り作りに参加、やがて家族総出のにぎやかなお便りになりました。

何より大切なのは心のつながり

「お便り」の内容は作物の成長、家族写真、子供達の作文、タヌキ観察記など盛りだくさん。果樹園の日常を鮮やかに紹介します。おばあちゃんの短歌コーナーは根強いファンがいて、遠方から会いに来た人もいます。子供の誕生日にはお客さんからプレゼントが届くこともあります。お客さんからお歳暮が届き、震災の際は、お見舞いを送り合い、互いの無事を喜び合う。お客さんから届いたお礼の葉書に囲まれた野本さんは「古いお客さんはもうほとんど親戚みたいなもの」と照れながら笑顔で語ってくれました。



洋梨の健康情報

甘く芳醇な香りに、とろけるような食感。贈答品としても人気がある洋梨は、柔らかな果肉に食物繊維を多く含み、美容にも嬉しい健康成分がいっぱいです。

豊富なペクチンで生活習慣病の予防

水溶性食物繊維のペクチンは腸内の乳酸菌を増やし、整腸作用に効果があると言われてます。また、コレステロールを下げる働きもあることから生活習慣病の予防にも期待ができます。

酵素でタンパク質の分解を助ける

洋梨に含まれる消化酵素のプロアテーゼには、タンパク質を分解する働きがあります。肉料理などを食べた後、デザートに洋梨を食べると消化を助けてくれますので、丸ごと調理するのがおすすめです。



「今月の絶品」

そのまま食べても美味しい洋梨ですが、オシャレな前菜にも早変わり。本場フランスでは生ハム、クリームチーズなどと一緒にサラダとして食べるのも人気です。

「生ハムと洋梨」レシピ

- ①洋梨をくし切りにしてお皿に盛る
- ②生ハムを乗せて、黒胡椒を少々、オリーブオイルを回しかける



ぜひ、ご自宅で作ってみてください!

「食」つうしん。

いつも弊社の商品をご利用いただき、誠にありがとうございます。
「食」つうしんは、東北で活躍している漁師さんや農家さんを集集し、東北復興を応援しております。また、あなた様の健康を「食」からもサポートしたく、東北の漁師さんや農家さんと協力して旬の健康食材を集集します。ぜひ、健康な毎日をお過ごしいただくためにお役立ただければ幸いです。 「食」つうしん。編集部一同